



令和7年12月1日
東京都立青峰学園
校長 田村 貴代美
文責 野間 玲子

ほけんだより 12月号

澄んだ空気に、冬の深まりが感じられるようになりました。学校では、換気や室温を工夫しながら、子供たちが安心して過ごせるよう努めています。御家庭でも、季節の変わり目に合わせた健康づくりに御協力いただければ幸いです。体調に気を付けてお過ごしください。

12月の保健行事

日付	内容	時間	対象
2(火)	体重測定	9:00～	肢体不自由教育部門希望者
4(木)	療育相談	9:30～	希望者
19(金)	整形診	午前	希望者
24(水)	療育相談	9:30～	希望者

12月の保健目標：冬を健康に過ごそう

空気が乾燥し、感染症の流行する季節になります。本校でも徐々に罹患するお子さんが見られ始めました。感染症と診断された際には、下記の手順に沿った対応をお願いします。

裏面には、冬季に流行しやすい学校感染症を掲載していますのでご確認ください。



感染症にかかったら・・・

① 受診した医師に確認

診断や検査を受けた病院で、「病名」「学校を休む必要の有無」「登校して良い日」を聞いてください。

② 学校に連絡

「病名」「いつから登校可能か」「お子様の様子」を学校にご連絡ください。

③ 登校許可書を提出

学校感染症に感染した場合は、欠席ではなく出席停止の扱いになります。登校しても良いことが分かるように、保護者が登校許可書を記入して登校初日に提出をお願いします。

登校は可能といわれていても、まだ本調子でないときは無理せず御家庭で様子を見てください。

※登校許可書は本校HP「保健室」のページからダウンロードが可能です。保健室にも用紙がありますので、必要な方はお申し出ください。

----- 冬季によくみられる学校感染症 -----

病名	出席停止期間
インフルエンザ (H5N1を除く)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで ★発症した日を0日目とカウントします。
百日咳	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後、5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
水痘（水ぼうそう）	すべての発疹が痂皮化(かさぶた)するまで
新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで
溶連菌感染症、手足口病、 伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、 マイコプラズマ感染症、感染性 胃腸炎など	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで



救急車を呼ぶべきか迷ったら・・・**#7119** 電話相談！



イベントごとがある年末年始だからこそ、病気やケガをすることも…。

「救急車を呼んだ方がよいか?」、「今すぐ病院に行った方がよいか?」など、判断に迷ったときに、**#7119**に電話することで、救急電話相談を受けることができます。

#7119に寄せられた相談は、医師、看護師、相談員等が電話口で傷病者の状況を聞き取り、迅速な救急出動につないたり、受診可能な医療機関や受診のタイミングについてアドバイスをしてくれます。

----- 保護者の方へのお願い -----

① 冬季休業中の健康調査

12月25日(木)に「冬季休業中の健康調査」を配布します。冬休み中に体調の変化などありましたら、二次元コードから入力又は紙媒体で1月8日(木)に御提出ください。

② 冬季休業前の坐薬の返却

坐薬(ダイアップ、エスクレ)をお預かりしている御家庭には、12月25日(木)に一度返却をします。返却された坐薬は、期限などを確かた上で、1月8日(木)に再度御提出ください。

③ 学校生活管理指導表(心臓・腎臓・アレルギー)の書き換え

心臓・腎臓疾患、アレルギー疾患などにより学校で特別な配慮を必要とするお子様について、お預かりしている学校生活管理指導表を1月末に返却しますので、最新の内容となるよう主治医に書き換えを依頼してください。また、1月末より前に受診される場合は、早めに用紙を返却することもできますので、連絡帳を通して保健室までお知らせください。